



大石田中学生による一日河川パトロール

8月5日(金)職場体験として大石田中学校2年生4名(男子3名・女子1名)が、大石田出張所で「一日河川パトロール」を体験しました。最上川の堤防を歩きながら、堤防の役割や排水樋管の仕組み、堤防除草の目的などを学びました。

白鷺・大向地区の堤防工事現場では、大型ダンプが運び込んだ土をブルドーザーが力強く丁寧に敷きならしていく作業を間近で見学し、その迫力に感動した様子。災害対策車ステーションでは、配備されている「排水ポンプ車・照明車」が東日本大震災の被災地で活躍した話を真剣に聞いていました。午後には丹生川で水生生物調査を行い、川とふれ合いながら心地よい汗を流しました。川に対する知識や思いが深まった一日になりました。



水生生物調査(丹生川)

バックテスト(COD等)による水質調査結果：丹生川(丹生川大橋下)の水質は「やや汚れている」

★COD(科学的酸素要求量)

・・・薬品を使って水中の汚れを分解するときに使う酸素の量で、有機物(汚れの元)の量を示す目安になります。

生徒たちの感想

「自分たちが知らないところで、沢山の方が町のために働いてくれていることがわかった。」
「町民が水害と向き合いながら生活を守っていることがわかった。将来は私達が守っていきたい。」
「堤防工事の現場を見せてもらい作業の大変さがわかった。」
「思っていたよりも川が汚れていた。川をきれいに守っていきたい。」など



排水樋管のゲート操作を体験



堤防工事の作業を見学



乗車体験



堤防除草を体験

樋管操作員4名が受賞しました

おめでとうございます



8月4日(木)、新庄河川事務所において国土交通行政に関する事業に従事または協力し、功績のあった方への表彰式が執り行われました。

大石田管内では、15年以上にわたり樋門・樋管の操作業務に継続的に従事され功績のあった4名の方々が表彰をうけました。



木村和夫さん・斎藤博美さん

建設事業関係功労者表彰	
氏名	排水樋管名
井 苅 正行 さん	大石田第二
木 村 和夫 さん	横山第四
斎 藤 博美 さん	川前第一
森 一 枝 さん	横山第三

堤防は、どんな土で造るの？

工事の進捗率50%（8月末現在）

今回は「白鷺・大向地区堤防工事」の**混合土（※）**による盛土施工についてご紹介します。

（※ 混合土・・・「河川敷から採取した土」と「購入土（山から採取した土）」を混合した土）



なぜ、「河川敷から採取した土」と「購入土」を混合するのでしょうか？

● 洪水対策

河川堤防は、古来から築造する場所に近い河川敷内から採取した土を盛土材料に活用し、築造されてきました。堤防を高く築くことで洪水を防ぎますが、河川敷内の土を採取して堤防の材料に活用することにより、河道が広がりより多くの水を流すことが出来るので、洪水に対する能力が高まります。

● 洪水・地震に強い堤防

堤防を築造する盛土材料は、漏水せず、洪水はもちろんのこと地震にも耐えられる強度が求められます。当現場の河川敷内の土を調査した結果、土質が砂であり漏水しやすく、崩れやすい性質なため山から採取した粘土質の購入土と混合し、粒径分布のよい混合土に改良しました。

混合比率は、配合試験を行い「河川敷から採取した土 1：購入土 1」としました。

● 工事費の縮減

河川敷から採取した土を堤防材料に利用することにより、購入土の量を約半分に減らすことができ、約9,000万円のコスト縮減を図ることができました。



— 転入者のご紹介 —

出張所長 **阿部 晴夫** （出身地）宮城県 大崎市 （趣味）水泳・散歩



7月1日、北上川下流河川事務所飯野川出張所から大石田出張所長として、着任しました。当事務所は、新規採用を含め5回目（勤務年数12年目・・・砂防業務8年、河川業務4年目）となります。

自然豊かな山形県を流れる母なる川「最上川」も時には大暴れするときがあります。洪水被害から地域の皆さんを守り、安全・安心を確保するため、市町村並びに地域の方々と連携して河川整備・河川管理を進めていきたいと思っております。



虹ヶ丘公園から眺める最上川

河川に関するご意見をどんどんお寄せ下さい！

国土交通省 新庄河川事務所 大石田出張所 担当 工藤・鈴木

〒999-4113 大石田町大字今宿字鷺の原466-2

TEL0237-35-2024 FAX0237-35-2354

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>